

令和3年度

幼稚園だより 3月号



文京区立千駄木幼稚園

春の訪れ 巣立ちの時

園長 渡邊 典子

チューリップに水をあげて咲くのを楽しみにしている3歳児がいます。今年の冬は例年より寒く、各学年が植えた球根は芽を出したばかりです。5歳児の植えた球根はこれからぐんぐん伸びて、修了式までに咲くと嬉しいのですが、自然に任せて待つしかありません。

4月に入園した3歳児は、門で挨拶をすると「行ってらっしゃい」と見送っている保護者を振り向きもせずに保育室に向かって走っていくようになりました。幼稚園が楽しい場所となったことに、保護者の方は安心するとともに短い距離ではありますが親離れしていく嬉しさとほんの少しの寂しさを感じているのではないのでしょうか。「大きくなりましたね」「お母さんからなかなか離れられなかったのにね」と1年の成長を共に喜んでいきます。保育室でも数人でひとつの場集って遊ぶことが楽しくなってきました。幼稚園だからこそ経験できる人との関わりです。

4歳児はクラス替えがあり、進級当初は登園時に足が重かったり、誰と遊ぶかと思案顔だったりしていた子が、学級や学年の皆で遊ぶことや何度かグループ替えをする中で、それぞれに好きな友達ができたとのことです。今日はAちゃんと〇〇して遊ぶ、Bちゃん大好き、という思いが幼稚園生活を楽しいものにし、意欲的に遊ぶ姿につながっています。自分で扱える教材（空き箱、画用紙類、テープ類、リボン類、ペン類など）が増え、作ったり作った物を使って遊ぶなど、想像する力や友達に思いを伝えようとするコミュニケーションの力が育ってきました。

5歳児は子ども会で一人一人が自分なりの動きや言葉で表現することや、友達と協力しながら劇を作る過程ややり遂げた満足感を体験しました。学級活動に向かった後は、生活に見通しをもって自分から課題（雛人形づくり）に取り組んだり体験したサッカーをしたり、数週間かけてジオラマの街をつくったりアクセサリ屋さんをオープンさせたりするなど目的をもって友達と残り少ない幼稚園生活を楽しんでいます。

園評価のご協力ありがとうございました。コロナ禍でなければもっと様々な行事を経験させてあげたかった、以前どのようなことをしていたのか分からない、というご意見がありました。幼稚園では最小限にリスクにおさえ、最大限に子どもたちが幼稚園生活を充実できるように努めてまいりました。その都度保護者の皆様には、ご理解とご協力いただき心より感謝申し上げます。

3・4歳児は今年度の安定感が来年度につながりますし、5歳児は友達と過ごした時間や幼稚園で経験してきたことが小学校生活の基礎となります。皆が自信と期待をもって次の学年に進んでくれることを願っています。一年間ありがとうございました。



友達と集って遊ぶ3歳児



年長の刺激を受けて
アクセサリ屋さんの4歳児



ルールやイメージを共有して遊ぶ5歳児

